

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11) 実用新案出願公開番号

実開平4-94857

(43) 公開日 平成4年(1992)8月18日

(51) Int.Cl. <sup>3</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 N 1/04	1 0 1	7251-5C		
1/028	Z	9070-5C		

審査請求 未請求 請求項の数1(全 3 頁)

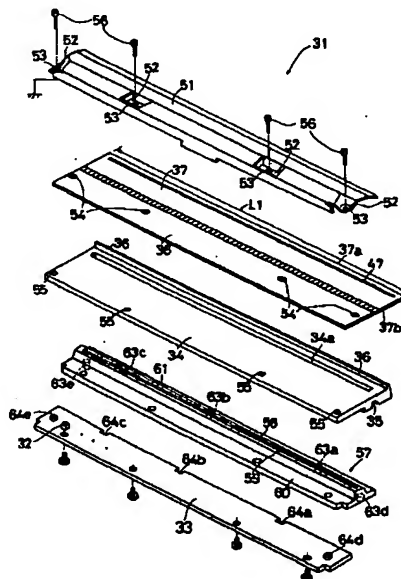
(21) 出願番号	実願平2-407142	(71) 出願人	000006633 京セラ株式会社 京都府京都市山科区東野北井ノ上町5番地の22
(22) 出願日	平成2年(1990)12月29日	(72) 考案者	竹下 義正 鹿児島県姶良郡牟人町内999番地3 京セラ株式会社鹿児島牟人工場内
		(72) 考案者	田尻 寛充 鹿児島県姶良郡牟人町内999番地3 京セラ株式会社鹿児島牟人工場内
		(72) 考案者	吉田 雄二 鹿児島県姶良郡牟人町内999番地3 京セラ株式会社鹿児島牟人工場内
		(74) 代理人	弁理士 西教 圭一郎 (外1名)

(54) 【考案の名称】 光源装置

(57) 【要約】

〔目的〕 用いられる部品の形状および寸法に関する精度を向上して生産効率を向上することができるとともに、動作品質を向上することができる光源装置を提供することである。

〔構成〕 イメージセンサ31を組立てるに際し、配線基板33の嵌合溝64a~64cと嵌合孔64d, 64eに、ランプハウス57の位置決め突起63a~63eを嵌合させる。ランプハウス57の突条部59にベースプレート34の収納凹所35内に収納される。ガラス基板37はベースプレート34の位置決め用の突起36に当接して装着される。



1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 長手方向に光通過孔が形成されるとともに該光通過孔に沿って溝が形成された支持体と、上記溝と嵌合するとともに上記光通過孔と連通する長孔を有する突条部を一主面側に備えかつ他主面に位置決め用突部が形成されたプラスチック板と、該突部と嵌合する位置決め用凹部を備えるとともに上記長孔および光通過孔を介して照射すべく発光素子が配設された基板とが順次積み重ねられた構成であることを特徴とする光源装置。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案の一実施例のイメージセンサ31の断面図である。

【図2】 イメージセンサ31の拡大断面図である。

【図3】 イメージセンサ31の分解斜視図である。

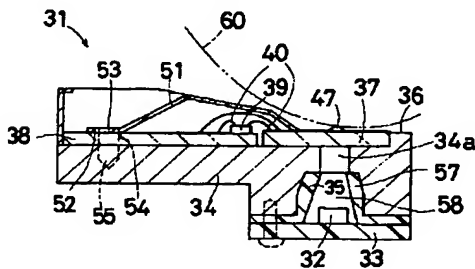
【図4】 ランプハウス57の底面図である。

【図5】 図4の切断面線V-Vから見た断面図である。

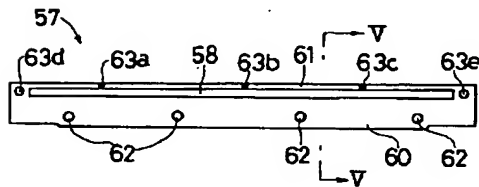
【図6】 配線基板33の平面図である。

【図7】 本実施例の作用を説明するグラフである。

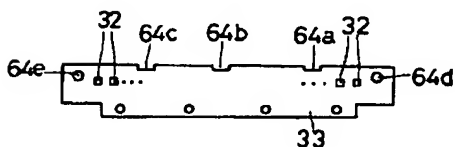
【図1】



【図4】



【図6】



(2)

実開平 4-94857

2

【図8】 従来例のイメージセンサ1の斜視図である。

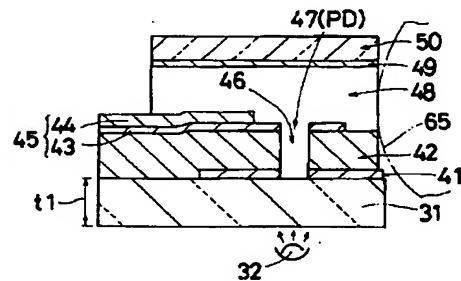
【図9】 ランプハウス13の底面図である。

【図10】 図9の切断面線X-Xから見た断面図である。

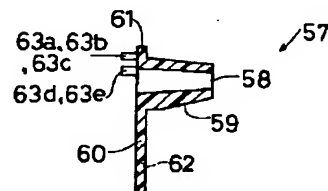
【符号の説明】

- 31 イメージセンサ
- 32 発光素子
- 33 配線基板
- 34 ベースプレート
- 34a 光通過孔
- 35 収納凹所
- 47 受光素子
- 57 ランプハウス
- 58 長孔
- 59 突状部
- 63a~63e 位置決め突起
- 64a~64c 嵌合溝
- 64d, 64e 係合孔

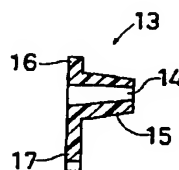
【図2】



【図5】



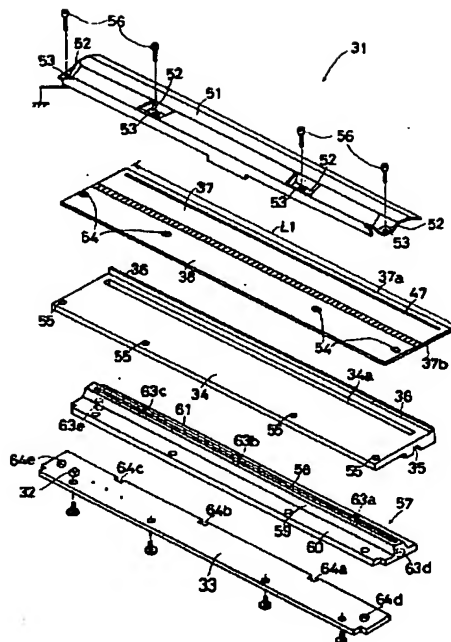
【図10】



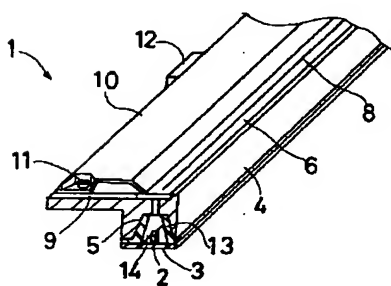
(3)

実開平 4-94857

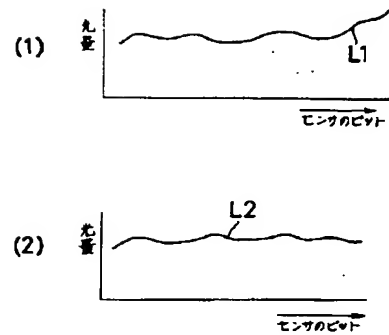
【図3】



【図8】



【図7】



【図9】

